

南山大学ホームページの未読・既読機能の提案

担当教員 横山哲郎

2015SE027 伊藤 雅浩 2017SE070 須藤 拓也

2015SE088 鷓野 高寛 2015SE092 山口 春樹

平成 30 年 1 月 25 日

1 はじめに

南山大学生が使用している南山のサイトはいくつかあるが、個人的に見ても周りに聞いてみても、ほとんどの人が何かしらの使いにくさ、見にくさを指摘していたため、学生がサイトを見やすいように改善することが必要だと感じた。

2 問題の発見

例えば PORTA は情報が多く自分の不必要な情報もたくさんある。そのためサイトにはソート機能が存在する。しかし、ソート機能は重要度、発信元部署といったソートしかなく基準が曖昧で逆にわかりにくいいため役に立たない。また、その他の南山大学のサイトも見た情報と見てない情報がわかりにくく、見たい情報を探するのに手間がかかってしまう。その中でどの情報を読んだかひと目でわかるようにしたいと思い、未読・既読の問題に着目した。

3 制約条件

金銭的に安く時間的に時間を短い時間で制作できるものでなければならない。

4 解決案の立案

解決策として GoogleChrome の拡張機能を使用して未読・既読機能を開発する。成果物として JavaScript を使用して、GoogleChrome の拡張機能で教務課の未読・既読機能を実現した。拡張機能は javascript を使用し、ライブラリ jQuery を使用して作成をした。既読未読ボタンは HTML のボタntag を用いた。ひと目でわかる用に既読ボタンは青、未読ボタンは緑に CSS を用いて設定した。CSS を呼び出すために chrome.*API を使用した。既読未読の機能については、jQuery のプラグイン jquery.cokkie.js を用いて jQuery のプラグイン jquery.cokkie.js を用いて cookie として保存した。cookie には 30 日間保存されるようにしてある。

既読ボタンを押すことによってボタンの色が変わり既読ボタンが青色になる。また、未読の状態でお知らせの記事をクリックすると自動的に既読になる。

5 代替案の立案

代替案として 1. 業者に頼んで未読・既読機能を追加してもらう。2. 南山大学生専用のスマホアプリを開発して未読・既読機能を実現する。の 2 つを立案した。1 は業者に頼むのですぐに問題が解決するが、お金がかかるし、そもそも要求が通るかが分からない。2 は手軽に使える便利であるが、多くの人に使ってもらうには iOS と Android 両方に対応した

アプリを開発必要があり、それには時間と手間がかかる。

6 今後の課題

今回教務課のサイトのみ機能を追加したが PORTA などのサイトにも実現できるようにしていきたい。そしてオプションで cookie の保存期間を自由に変更できるようにしていきたい。

7 まとめ

今回教務課に未読・既読機能を追加する拡張機能を実現できた。GoogleChrome の拡張機能は汎用性があり、いろいろな機能を追加できるため拡張機能を用いてソート機能も実現することが出来るだろう。

7.1 担当

製作時間 15 時間
拡張機能作成 鶴野
レポート作成 須藤 山口
スライド作成 伊藤 鶴野

参考文献

- [1] <https://liginc.co.jp/web/tool/browser/163575>
・ Chrome のオリジナル拡張機能を開発しよう
(ソースコードあり)
- [2] <http://gimmicklog.main.jp/jquery/359/> ・
jQuery.cookie.js でクリックしたら次回から表示
させないようにする
- [3] <http://www.webopixel.net/javascript/216.html>
・ jQuery で指定した要素に class,id を追加する
- [4] <http://www.searchlight8.com/jquery-url-get-attr/> ・ [jQuery] クリックしたリンク URL を取得する方法